

あおぞら

第56号



医療理念

1. 医療の原点に立った心温まる医療
【Humanism】
2. 高度医療の提供
【High Level】
3. 職員一同連携し仕事を通じての
人間的成長
【High Growth】

目次

大動脈治療外来開設のお知らせ……………	2～3
9月より「ひかり食」を開始しました……………	4
当院が臨床栄養師研修施設に認定されました……………	5
私たちのステイホーム……………	6
コロナ禍のプチエンジョイ……………	7
外来週間診療予定表……………	8

特定医療法人

大動脈治療外来開設 のお知らせ

心臓血管外科部長
古舘 晃



近年の生活習慣の変化により動脈硬化性疾患は増加傾向にあります。心筋梗塞や脳梗塞などで命を落とされる方も少なくありません。

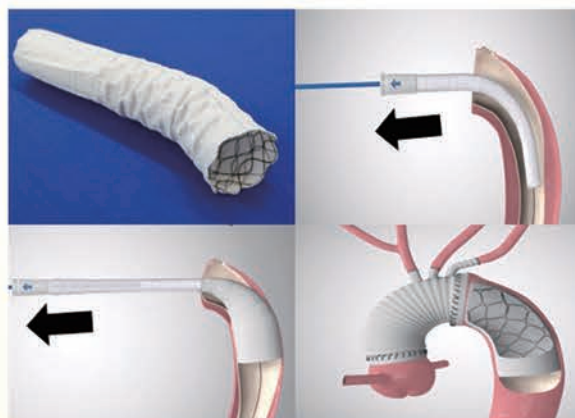
大動脈瘤も同じ動脈硬化を原因とすることが多い疾患です。ただし、心筋梗塞などと大きく異なるのは、大動脈瘤は破裂するまであまり症状を認めないことです。胸部レントゲンで縦郭影が拡大していることで指摘されたり、腹部のエコーをしたところ偶然にみつかることがかなり多いです。発見されたときにはかなり大きくなっており、破裂する一歩手前であったりすることも珍しくありません。また、大動脈瘤が破裂した場合、病院や治療までたどり着かないことも多く、助けることが非常に難しくなっています。事前に診断し、適切なタイミングで治療することが非常に重要な疾患です。

画像診断（特にCT）の発展により、今までは分かりにくかった形状の動脈瘤も診断されやすくなっています。Thin sliceでの画像や、冠状断や矢状断などの画像再構成などによっても今までは判断できていなかったような動脈瘤の発見、経時的变化の観察も可能となっています。紡錘状形態の瘤は比較的診断されやすいのですが、嚢状形態の瘤やPAU（penetrating atherosclerotic ulcer）に関しては一見しただけでは分かりにくく、注意が必要です。さらに、

嚢状形態の瘤やPAUは紡錘状に比べると破裂のリスクが高いとされ、大きさのみでは治療適応の判断が難しく、症例ごとに判断しているのが現状です。

治療に関しては、大きく2つの選択肢があります。開胸・開腹での人工血管置換術は従来から行ってきた手術です。侵襲はやや大きくなりますが、根治性が高いのが大きなメリットです。人工血管の改良などにより以前よりも手術侵襲は軽減していますが、対術能の高い若年者に選択することが多いです。

一方で、ステントグラフト内挿術という血管内治療の方法があります。当院では2012年より導入しています。ステントで補強された人工血管がカテーテルに充填されており、血管内で展開することにより、瘤内への血流をなくすことで破裂の予防が可能となります。原則、全身麻酔で行っ



ていますが、皮膚切開が鼠径部の約2cm程度のみで可能であり、かなり侵襲が少ないのが大きな特徴です。従来の人工血管置換術が2週間から1か月程度の入院期間を要するのに対して、ステントグラフトでは1週間程度の入院期間で可能です。また併存疾患により従来の開胸・開腹手術が難しい場合や対術能の低い御高齢者でも適応しやすく、手術の適応範囲が大きく広がりました。年々、デバイスの進化も目覚ましく、さらに使いやすく治療効果も良好となっております。ただし、デメリットも存在します。血管径の細い方や血管の石灰化が高度であったり、動脈硬化により内膜に粥腫が多く狭窄を起こしている場合などの原因によりカテーテルが通過できないと治療ができません。また、頸部分枝や腹部分枝などの重要な大動脈分枝が瘤と近接している場合は、治療ができなかったり、再建が必要となったりします。エンドリーク（脇漏れ）という特有の問題点もあります。瘤がなくなるわけではないので、人工血管の脇漏れや小さな分枝からの血流が発生し、数年後に再拡大を起こし治療介入が必要となることもあります。

ステントグラフトの導入により確実に治療の選択肢が広がりましたが、いずれの治療であっ



てもメリット、デメリットが存在するために、症例ごとに十分な検討が必要となっております。

治療の選択肢が広がった分、治療介入のタイミングや選択など考えるべき問題点も変化してきています。また、レントゲンやエコーなどでも疑われることも少なくないことから、専門外の先生方でもなるべく相談しやすいようにと考え、2019年11月より、当院では大動脈専門外来を設立する運びとなりました。

当院は、すでに血管内治療の施設認定を取得しており、様々な大動脈治療を行う体制を整えております。

患者様の受け入れに関しましては、毎週火曜日午後を大動脈診療専門日としております。患者様などから問い合わせがありましたら、地域医療連携室に連絡していただきますようお願い申し上げます。

近隣患者様のニーズにしっかりと応えるべく、一層努力してまいりますので、今後とも、従来の心臓血管外科診療共々、御指導、御鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

診療時間

毎週火曜日 午後 13：00 ～ 15：00 担当医：古舘 晃

三学会構成心臓血管外科専門医・修練指導医
腹部ステントグラフト実施医・指導医
胸部ステントグラフト実施医・指導医

お問い合わせは地域医療連携室まで
月～金 8：30～17：00
土 8：30～12：00
TEL (095) 857-3563

9月より「ひかり食」を開始しました



ひかり食とは、化学療法の副作用で食欲不振や味覚が変化した患者さんに少しでも美味しく満足して食べていただけるように考えたメニューです。火曜から金曜までの固定した夕食のみのメニューとなっており、対象の患者さんには通常食かひかり食のどちらかを選択していただいています。

【ひかり食提供までの流れ】

入院されたら管理栄養士が訪問します。その際、症状や体調、嗜好をお伺いします。



聞き取りの結果から、食べたいメニューを選んでいただきます。

(ただし、アレルギーがある方は除外となります。)

ひかり食メニューの一例(抜粋)



カレー



いなり寿司



ホットサンド

化学療法の副作用には、食欲不振、吐き気・嘔吐、味覚変化、口内炎、下痢、便秘などの症状があり、中でも食欲不振や味覚変化に悩む患者さんが多くいらっしゃるわかりました。

6月に実際に試行してアンケート調査を実施したところ、食事への希望、要望として

- 味付けの濃いもの
- 見た目の量が少ないもの
- のどごしのよいもの
- 匂いが強くないもの

などが挙げられました。この結果や他院での取り組みを参考にし、日清医療食品のスタッフの協力のもと、現在のひかり食の提供に至りました。

ひかり食は文字通り光晴会病院の「光」から命名しています。通常食がほとんど食べられなかった患者さんが、「これは食べられた!」「また入院したらこの食事が食べたい」との言葉をいただきました。食べることは生きる活力となります。この食事が希望の「ひかり」となって、辛い治療の一助となれたら嬉しく思います。

入院中や退院してからも、癌治療中の患者さんに対しての栄養食事指導が可能です。お困りの点やご質問があれば、小さな事でよいので、担当医を通じてご相談いただければ幸いです。



当院が 臨床栄養師研修施設に 認定されました。

栄養科 主任 首藤 美香



きっかけは、昨年11月当院で行われた日本健康・栄養システム学会九州地方会でした。篠崎顧問が大会長、栄養科は事務局をお引き受けしました。その際に出席いただきおりました岡田病院長へ、九州地方会会長の小山先生および熊本県立大学の山下先生から、まだ長崎には臨床栄養師研修認定の施設がなく本院での認定施設取得の依頼がありました。早速、岡田病院長より取得にむけ前向きに検討するようにとの言葉がありました。

研修施設認定には、これまでの実務経験や論文審査を受け、臨床栄養師取得が条件となります。卒論以来でしたが、大学を卒業して早ウン十年…。多くの論文や症例を参考に、様々な方のお力添えを頂きながら作成することができました。また患者さんの過程を整理することができ、当初は無理だと思っていたことも「為せば成る」の格言そのものでした。今回得たことは患者さんの為に活かしていく所存です。

認定施設となったことで、臨床栄養師の育成のみではなく、栄養サポートチーム(NST)専任要件となる研修施設の基準もクリアできています。コロナ禍で大変な時期ではありますが、近隣の施設でご希望がありましたら是非相談して頂けると幸いです。

最後になりましたが、今回臨床栄養師を取得するにあたり、岡田病院長、赤澤副院長、世羅医師、篠崎顧問には多大なるご支援、アドバイスを頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

※臨床栄養師とは、人間栄養学に基づいた臨床栄養の知識、技術およびマネジメント能力を習得し、栄養ケア・マネジメントの質の向上に努めることのできる能力を有している管理栄養士です
(日本健康・栄養システム学会より)



私たちのステイホーム

家族のために Y・F

新型コロナの流行により世の中は一斉にマスク不足となりました。インターネットで検索しても全て品切れ状態だったので、手持ちの使い捨てマスクで型取りし、布マスクを作成しました。テレビの情報から銅が除菌効果があると聞いて、鼻の部分に銅のワイヤーを使用しました。そして少しでも感染予防になればと思いマスクの中には不織布を入れ、柄は家族の要望も取り入れマスクづくりを楽しみました。

以前孫ちゃん達用に布草履も作っていましたが、この期間少し手が空いたのでまたこちらも初めてみることにしました。

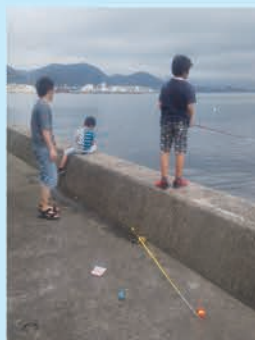


ファミリーフィッシング Y・M

今年のコロナ禍での夏、遠出を控える中、子供達に新しい趣味が出来ました。それは、釣りです！

1人1人がマイ釣り竿を持ち、朝5時には自宅を出発。長与や時津、琴海の海で小アジ、タコなど家族皆で頑張って釣っていました。時には0匹の時もありますが、忍耐力も養われてきているようです！お蔭で釣りを楽しんだ日の食卓はとても賑やかです！

今では、魚料理&たこ焼き大好き家族で〜す(*^_^*)



ランニングで気分転換 J・D

新型コロナウイルスの流行により、ステイホームや健康の増進が推奨されるようになってきました。

私は趣味でランニングを週に2,3回行っています。私は3年ほど前にフルマラソンを完走したいと思い、ランニングを始めました。今ではフルマラソンの自己ベストが3時間15分になりました(延岡マラソン、福岡マラソン)。ランニングはすごくシンプルですが、奥が深く面白いです。走ることで気分転換にもなりますし、ストレスの発散にもつながります。

このコロナ禍でいろんなことが制限され、ストレスがたまっている方も多いと思いますので、気晴らしにランニングをしてみてはどうでしょうか？





コロナ禍の プチエンジョイ

～道ノ尾編～

JR道ノ尾駅から徒歩2分、光晴会病院横の路地にある、すぐお隣の「吉田のバル」さんでTAKE OUTを楽しみました。

国道206号線沿い十八親和銀行道の尾支店の並び、西友道ノ尾店からもすぐです。

医療機関で働く身、会食も自粛が続く中、今は我慢、我慢…でも、時には気分を変えたい!と、道ノ尾界隈の洋食で評判のいいお店をたずねました。

「吉田のバル」さんは5月で5周年を迎えられたそうです。

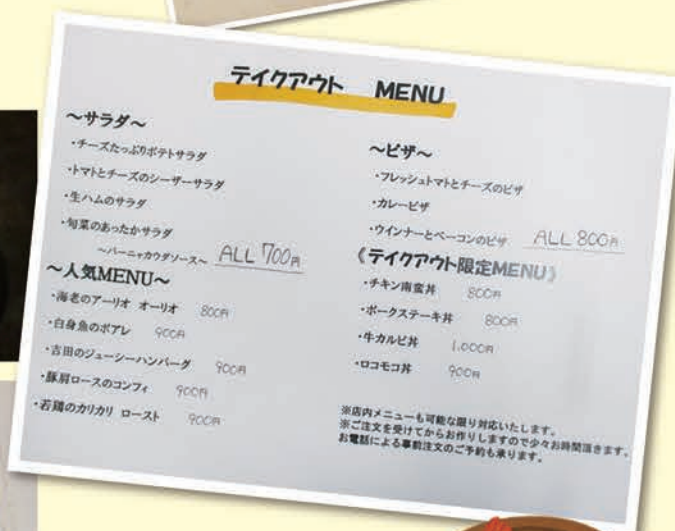
こじんまりとしたお洒落な店内で、美味しいお酒とお料理を満喫できます。おすすめは?とお聞きすると「全部です!」と、少し貫禄のある、顔写真はNGだとおっしゃる店主の吉田さんからの答えでした。自粛されていた夜の営業も再開し、お昼のランチもされているそうです。大好評の日替りランチプレートは限定10食です。

この日テイクアウトしたロコモコ丼、チキン南蛮丼はこれだけでも満腹になります。食べ盛りのお子様、男性にもおすすめです。白身魚のポアレも上品なお味で大変おいしくいただきました。

「吉田のバル」のテイクアウト、おすすめです。テイクアウトメニュー以外でも、作っていただけたらとのことでしたので、お問い合わせください。



プロの一皿をお家で!



外来週間診療予定表

令和2年9月1日～

	月	火	水	木	金	土
内 科	ふくだ やすひろ 福田 康弘 (消化器)	みやぞえ ゆり 宮副 由梨 (消化器)	よしおか まさと 吉岡 正人 (一般)	みやぞえ ゆり 宮副 由梨 (消化器)	しばた ゆういち 柴田 雄一 (一般)	よしもと せいし 吉本 静志 (心療内科) (午前) 不定期休み
	みやざき けんいち 宮崎 健一 (腎・一般)	ひらい たつひろ 平井 達大 (腎・一般)	ふくだ やすひろ 福田 康弘 (消化器)	おおつぼ としお 大坪 俊夫 (腎・膠原)	しばた りゅうじろう 柴田 龍二郎 (一般)	いずみ もともし 和泉 元衛 (甲状腺・肥満)
	しばた りゅうじろう 柴田 龍二郎 (一般)	まつたけ とよし 松竹 豊司 (呼吸器)	ながよし ようすけ 永吉 洋介 (呼吸器)	まつたけ とよし 松竹 豊司 (呼吸器)	ながよし ようすけ 永吉 洋介 (呼吸器)	
	いずみ もともし 和泉 元衛 (甲状腺・肥満)	あかほし ひろし 赤星 浩 (消化器)	しばた ゆういち 柴田 雄一 (一般)	あかほし ひろし 赤星 浩 (消化器)	いずみ もともし 和泉 元衛 (甲状腺・肥満)	
			しばた りゅうじろう 柴田 龍二郎 (一般)			
循環器内科	こうの まさき 河野 政紀	いしざき まさひこ 石崎 正彦		こうの まさき 河野 政紀	いしざき まさひこ 石崎 正彦	
心臓血管外科	ふるたち あきら 古舘 晃	こが きよかず 古賀 清和		ふるたち あきら 古舘 晃	こが きよかず 古賀 清和	
泌尿器科	やました しゅうじ 山下 修史	やまさき やすと 山崎 安人	やましたしゅうじ 山下修史	大学医	やまさき やすと 山崎 安人	
外 科	おかだ かずや 岡田 和也	おかだ かずや 岡田 和也	大学医	すすも せいや 進 誠也	すすも せいや 進 誠也	
	きしかわ ひろき 岸川 博紀	みよし たかゆき 三好 敬之	きしかわ ひろき 岸川 博紀	きしかわ ひろき 岸川 博紀	たなか しろう 田中 史朗	
			たなか しろう 田中 史朗	やまぐち いずる 山口 泉	よしもと ひろし 吉本 浩 (形成外科)	
【午後】 14:00 ～ 16:00		おおつぼ としお 大坪 俊夫 (腎臓病疾患専門)	みやざき けんいち 宮崎 健一 (腎臓病疾患専門)	よしおか まさと 吉岡 正人 (一般)		
				しみず としまさ 清水 俊匡 (リウマチ専門)		
【午後】 13:00 ～ 15:00		第1・3・5週 こが きよかず 古賀 清和 (下肢静脈瘤専門)				
		ふるたち あきら 古舘 晃 (大動脈専門)				
糖尿病センター 9:00 ～ 12:00	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	あかざわ しょういち 赤澤 昭一	
	かわはら ひろみ 川原 仁美	せら やすのり 世羅 康徳	せら やすのり 世羅 康徳	せら やすのり 世羅 康徳 フットケア	せら やすのり 世羅 康徳	

※ 診 療 科 目：内科・外科・泌尿器科・循環器内科・心臓血管外科・消化器科・リウマチ科・リハビリテーション科・呼吸器科・腎臓内科・形成外科・肛門外科・糖尿病内科・麻酔科

※ 診療受付時間：午前8：30より 午前11：30まで ※ 予約制ですので、できるだけ予約をお願い致します。

光晴会病院 地域医療連携室 TEL 095-857-3563 (直通) FAX 0120-573-632 (直通)

(コミュニケーションマガジン) 編集委員

編集・発行責任者：岡田 和也

編集スタッフ：金子(顧問) 岩谷(南3階) 成富(北4階)

門田・岩崎(外来) 藤江(血液透析室) 峯(中材)

坂本(臨床工学科) 下田(総務課)

特定医療法人 光晴会病院

〒852-8053 長崎市葉山1丁目3番12号

TEL095-857-3533 FAX095-857-2572

<http://www.kouseikai.org/>